重点４分野の成長産業育成

東京都立産業技術研究センター

世界に勝つものづくり支援

東京都立産業技術研究センター（都産技研）は4月、『世界に勝つものづくり支援』をテーマとした第3期中期計画（2016年度―20年度）をスタートさせる。「時代の先を読み、技術の力で産業をリードする」を経営ビジョンに掲げ、ニーズオリエンテイドな事業運営と事業化を見据えた技術支援、産業育成に直結する研究開発を進め、中小企業が自らの製品をつくって販売する事業化までを支援する。

来月、組織を再編・強化

主に取り組むのは①研究開発活動による東京の成長産業支援②開発型中小企業の支援充実③中小企業の海外展開支援④サービス産業（特に生活関連産業）の支援⑤高度な産業人材の育成―の五つだ。

このうち、東京の成長産業支援として「研究開発重点4分野」と「ロボット産業活性化事業」に注力する。成長産業支援で掲げる研究開発重点分野は「環境・エネルギー」「生活技術・ヘルスケア」「機能性材料」「安全・安心」の四つだ。

「環境・エネルギー」では、水素エネルギーを含めた創エネも視野に入れ、環境浄化技術・電力省エネ技術・再生可能エネルギーをキーテクノロジーにした新規産業の創出、国際競争力を持つ環境技術の海外展開を支援する。「生活技術・ヘルスケア」では、感性工学を活用した高齢者支援や医療機器・細胞培養デバイスなど、福祉機器も含めた開発を後押しする。

「機能性材料」では、航空宇宙・金属材料・複合素材の開発支援で中小企業を支える。「安全・安心」では、ロボット・インフラ劣化診断・情報セキュリティーの製品化を後押しする。

開発型中小企業への支援を充実させるため、4月1日から新たな部の設置も含め、より効率的な支援ができるよう組織を再編・強化する。生活技術開発セクターの拡大（サービス産業支援の充実）を図るため、4月1日付で開発本部内に「開発第3部」を新設する。墨田支所の生活技術開発セクターと本部・システムデザインセクター、情報技術グループを統合し、約30人体制とする。製品性能と使いやすさ、

卓上型透過電子顕微鏡を新規導入し、ヘルスケア分野支援を強化する

時代の先を読み、技術力で産業リード

3Dものづくり　先端材料開発　複合素材開発

開発型中小への支援充実

減圧恒温槽を活用して航空機搭載用電子機器など高信頼性製品の開発支援に取り組む

デザインや情報技術を一つに統合することで、より高付加価値な製品開発に取り組める。

3Dプリンターを活用した技術支援も充実させる。4月1日付で「3Dものづくりセクター」を新設する。ナイロン粉末AM（アディティブ・マニュファクチャリング＝積層造形）、金属AM、高精度測定技術の三つを統合し、3Dプリンター分野を総合支援できるよう1セクターに整える。

同様に新設する「先端材料開発セクター」では、従来の原因究明を中心とした支援から、モノをつくることに主眼を置いた組織へと発展させる。例えば、都産技研が強みとして持つ物性高度分析と先端加工、成膜・印刷の技術を活用して薄膜太陽電池や触媒、発光・表示装置などの分野に取り組む計画だ。

「実証試験セクター」は継続して安全・高信頼性製品開発を支援する。

ロボット事業推進部には「ロボット事業化推進グループ」を新設し、2グループ1セクター体制に増強する。民間企業の営業経験者を採用し、都産技研も製品を販売するという立場を理解し、職員にも営業力を持たせるのが狙いだ。

高機能繊維の開発支援

7月には、都産技研多摩テクノプラザ（昭島市）内に「複合素材開発セクター」を新設し、多摩地域の地場産業である繊維に特化した製品開発の支援に力を入れる。繊維技術・成形加工技術を活用し、高機能繊維や繊維強化材料の製品化支援が主となる。プラズマ処理装置やオートクレーブ、高温プレス織機、カーボン織機などの機器を活用し、センサーなどを織維素材に組み込んだ「E―テキスタイル」や、陸橋などインフラ構造物を補強するための繊維強化材料、自動車や航空機に使うCFRP成形部材など繊維強化複合材料の製品化を支援する構えだ。

「ロボット産業活性化事業」も加速

試作から安全性評価まで対応

15年度にスタートした「ロボット産業活性化事業」も加速する。4月20日にはテレコムセンター（東京都江東区）内にロボットの試作から安全性の評価まで対応するロボット開発拠点「東京ロボット産業支援プラザ」が全面オープンし、中小企業のロボット産業参入を後押しする。公募型共同研究開発の募集も引き続き実施する。短期展開型（開発期間1年、委託上限1000万円）と新市場創出型（開発期間3年、委託上限3000万円）の2種類あり、取り組みたいテーマが採択されれば、概算払いで資金が提供されるよう制度設計されているため、資金繰りを気にせずにしっかりと製品づくりに向き合えるのが特徴だ。八つの採択テーマは事業化まで支援する。

また、中小企業の付加価値の高いものづくりを支援するため、中小企業の社員自らが高度な先端機器を利用し、製品開発を行うことができる機器利用ライセンス制度事業についても強化する。現在保有する分析機能付き走査電子顕微鏡やキセノンフラッシュアナライザーなど20機種に加え、4月以降も順次、対象機器を拡充する計画だ。

都産技研の海外展開支援も着実に進んでいる。

「プラザ」オープン　中小参入後押し

15年4月にタイのバンコクに開業したバンコク支所では東南アジア諸国連合（ASEAN）地域に進出した日系企業向けに無料で技術相談を実施中だ。開業してから15年12月までの相談件数は26件あり、都外からの利用も多かった。業種別では自動車関連の利用が多く、工場の品質改善やメッキ廃液の分析、タイの試験所の使い方などの相談が寄せられている。東京と現地をテレビ会議で結び、現地で解決できない課題も解決する。製品の海外規格に関する情報提供や技術セミナーを行うほか、タイ工業省、日本貿易振興機構（ジェトロ）、東京都中小企業振興公社とも連携し、支援内容を充実させていく。

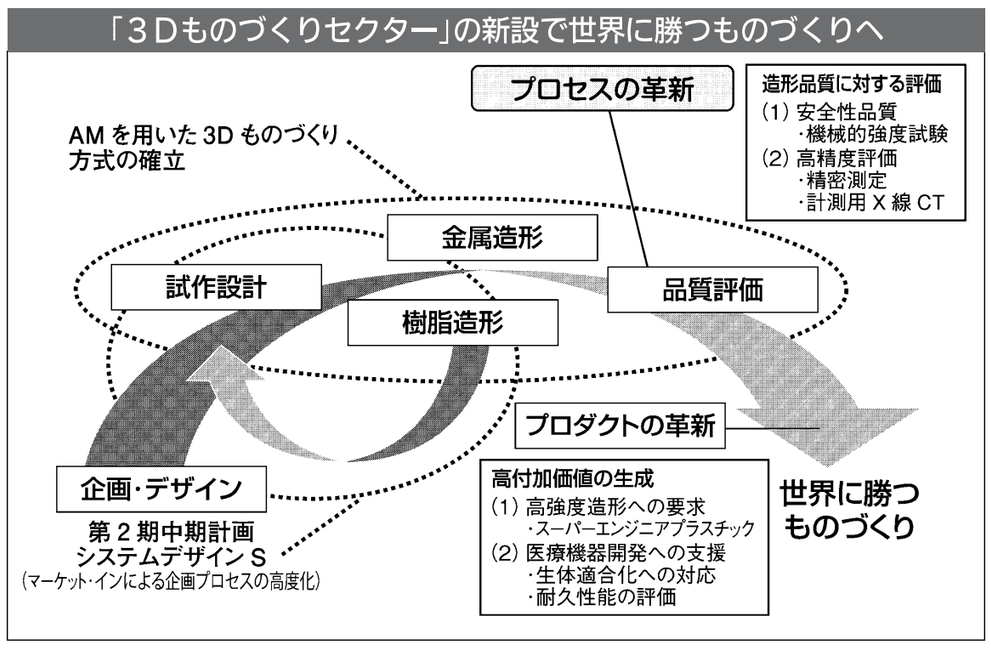
国内外で総合的支援

概要

東京都立産業技術研究センター（都産技研）は、東京都が設立した公設試験研究機関。都内中小企業に対する技術支援（技術相談、依頼試験、研究開発、人材育成など）を行うことで東京の産業振興と、都民生活の向上に貢献することを主な役割としている。

2006年度に地方独立行政法人へ移行し、11年目に入る16年4月から『世界に勝つものづくり支援』をメインテーマとした第３期中期計画が始まる。国内製品の海外輸出を支援する「輸出製品技術支援センター（MTEP）」を12年10月から運営し、15年４月にはタイ・バンコク支所を開設し、東南アジアに進出した日系中小企業の技術支援も強化した。国内外で総合的支援を推進している。

「３Dものづくりセクター」の新設で世界に勝つものづくりへ



東京産業界特集

中小企業と技術の出会いの場　申込受付4月中旬予定 ／ 参加費無料

TIRI クロスミーティング2016

日時▶ 6/8(水) 14:45▸18:00　6/9(木) 10:00▸17:30　6/10(金) 10:00▸17:30

会場▶ 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 本部
（東京都江東区青海2-4-10）
ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前
りんかい線「東京テレポート」駅下車 無料送迎バス3分

地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
TOKYO METROPOLITAN INDUSTRIAL TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE

都産技研は平成18年に全国の公設試験研究機関に先駆けて地方独立行政法人化し、10周年を迎えます。これを機に、都産技研の技術シーズや研究成果を発表してきた「研究成果発表会」を「TIRIクロスミーティング」へと名称を変更し、中小企業と技術の出会いの場として活用いただく会へと内容の充実を図ります。

6/8(水)　都産技研地方独立行政法人化10周年プログラム

「中小企業の競争力は、ビジネスモデルとそれを支える知財マネジメントで決まる ～産業生態系の変容の中で何を検討しなければならないか～」
（特非）産学連携推進機構 理事長／一橋大学大学院商学研究科MBA客員教授　妹尾 堅一郎氏

「メディカロイドが目指す医療ロボットについて」
（株）メディカロイド 常務取締役 ／川崎重工業（株） 精密機械カンパニー ロボットビジネスセンター 医療ロボット部門担当理事　田中 博文氏

6/9(木)　ロボット／海外展開

「ロボットと未来社会」
大阪大学教授／ ATR石黒浩特別研究室 室長　石黒　浩氏

「中小企業の『生産拠点を持たない海外展開』戦略」
日本政策金融公庫 総合研究所主席研究員　丹下 英明氏

6/10(金)　先端ものづくり／生活技術・ヘルスケア

「生産性の高いCFRPの製造方法（仮）」
三菱レイヨン（株） 炭素繊維・複合材料技術統括室 担当部長　小川 繁樹氏

「人間工学や感性工学を活用したモノづくり（仮）」
パナソニック（株） 解析センター ユーザビリティソリューション部 係長　立田 美佳氏
※4月より、「プロダクト解析センター」に名称変更

「世界市場を目指した国際標準化戦略」
大成プラス（株） 会長　成富 正徳氏

6/9(木)・10(金)両日　●研究成果、技術シーズの発表　●成果展示　●技術相談コーナー　●都産技研本部／東京ロボット産業支援プラザの見学会

「TIRI クロスミーティング2016」運営事務局　TEL 03-5644-7499　FAX 03-5644-7397　E-mail sangiken@media.nikkan.co.jp　〈お申し込みはホームページから〉 http://www.tosangiken-seika.jp　TIRIクロスミーティング　検索